

No.	相談内容・要望(概要)	相談内容・要望(詳細)	対応方法(今後の方針)
1	近隣迷惑被害を役所はここまで関与するのか	近所の方が空き缶を集めて、異臭などを放ちまた違法駐車など迷惑が掛かっています。市役所の方に見ていただいて、相手にはお伝えしていただいているが改善が見られない。この先どうしたら良いのか相談すると、あとは弁護士相談が警察に相談に行つてほしいと言われる。このような迷惑行為は他にも市内であるとは思いますが。まちの魅力創造するにあたり、市として何かよい手立てはないでしょうか？	まちの魅力づくりには、まず、市民の皆さまの心地よい日々の生活環境を保つことが大切だと考えております。市民の皆さまの困ったことを解決していくよう市役所の職員も頑張つて仕事をしているところです。しかし、今回ご質問いただいた案件のように、ご近所に様々な問題を抱える事案があることも承知しております。 しかしながら、個人の敷地内にある物は、個人の財産となることから、行政としても、直接的に処分を求めることは困難ですが、悪臭を放つような生活環境を損なうことのないよう相手方には直接お伝えさせていただいているところです。一日も早く皆さまが心地よく日常生活を過ごせる状態に戻せるよう、改めて相手方にお伝えさせていただきます。違法駐車については、警察が相談先となりますが他の行政とも連携して問題解決に向けた方法を模索したいと思っております。
2	今後の羽曳野市の発展のための取り組み	町の発展する為には、人と予算が不可欠ですどのように集めますか？例えば、羽曳野市に来ていただく魅力ある街為に、ショッピングモール レジャーランド 働キ甲斐のある企業誘致 など	ショッピングモールやレジャーランドなどの施設が羽曳野市に立地されることで、市内外から多くの人々が集まり、まちに賑わいをもたらしてくれます。また、財政面でも大きな税収が期待できます。 ただし、ショッピングモールやレジャーランドなどの民間企業が市内に建設されるかは、開業する店舗に見込める集客の範囲、その圏内の人口構成、ライバル店の有無、地域住民の年代層や生活パターンなどを調査し、開業後の売上げ見込みや収益の予測を立てた上で、民間企業主導のもとで決定されます。市が企業立地に向けて、その前提で行わなければならないことは、企業が立地できるような制度環境を整えることだと考えます。 近年、近隣市では幹線道路沿道の市街化調整区域に複数のショッピングモールが毎年開業しています。具体的には、国道309号沿道に堺市美原区の「ららぽーと堺」、松原市の「セブンパーク天美」、10月9日にオープンする「イオンタウン松原」などです。 これらのショッピングモールは令和3年から毎年1つずつ開業しています。 「羽曳野市にはなぜこのような大規模商業施設ができないのか？」という疑問をお持ちの市民の方もおられることだと思っております。これらの大規模商業施設は、「大規模集客施設」と言つて、店舗、飲食店または劇場、映画館などの部分の床面積の合計が1万平方メートルを超える建築物のことです。 「大規模集客施設」の立地により、①都市構造への影響②都市基盤整備への影響③交通事情への影響④周辺環境への影響が考えられることから、大阪府により適正立地に関する運用指針が示されています。 また、市街化調整区域に立地する場合は、さらに厳しい立地要件が設けられており、市は都市計画の基本的方針である「都市計画マスタープラン」に幹線道路沿道など立地できる区域を具体的に限定しなければならないとされています。 堺市や松原市では、約10年前から幹線道路沿道の市街化調整区域に「大規模集客施設」を立地できるように、「都市計画マスタープラン」にその区域を位置付けるなど、将来のまちづくりを見据えて制度を整えられてこられました。一方、本市においては、7年前に改正された現行の「都市計画マスタープラン」には、そのような区域の位置付けはなく、南阪奈道路沿道や大阪外環状線沿道といった企業立地ポテンシャルの高い区域であっても、「大規模集客施設」の立地を認める制度がありませんでした。 市長就任後に、まず、大阪外環状線や南阪奈道路沿道の企業立地の環境づくりに着手するよう関係各課に指示しました。その結果、大阪府との協議や都市計画審議会での審議を経て、令和3年12月に、大阪外環状線と南阪奈道路との交差点周辺等の特に立地ポテンシャルの高い区域において「大規模集客施設」の立地を可能とする本市「都市計画マスタープラン」の一部改正と羽曳野市独自のガイドラインの策定を行っています。 今後につきましては、「市政運営の基本方針」に掲げています「企業立地の促進」の実現を見据えた内容となるよう本市「都市計画マスタープラン」の改正に向け、すでに庁内若手職員による検討会議で各地域の問題点や課題の抽出、将来のまちづくりの方向性の検討など、令和8年度の次回の改正に向け準備を進めているところです。 また、これまで本市ではあまり検討されてきませんでしたが、全国的な課題である人口の減少時代における厳しい財政状況や公共サービス水準の低下などに適切に対応し持続可能な都市を運営していくため、私は、都市機能と居住機能を集約し利便性の高い公共交通で結ぶコンパクト・プラス・ネットワークによるまちづくりを進めるための検討が必要であると考えています。
		2万8千前から住み始めた所で世界遺産の古墳群を始め、竹内街道 善正寺を始めする寺院 菅田八幡と大変歴史的な町でその資料を活用した歴史学へる学校を作る	お示しいただいたとおり、本市の歴史は、ひるくは旧石器時代に始まり、古墳時代には大王級とみられる権力者の墳墓が集積する地となり、以降、日本で最古といわれている八幡宮の建立や、主要な街道が市域内で交差するなど、歴史的にも重要な地であります。このような背景を持つ本市は、みなさんご存じのとおり世界遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群の古市エリアを擁し、また、文化庁より認定されました日本遺産の竹内街道が市域を貫くといった、歴史を身近に感じることができる地域であり、このような自治体は府内でもほとんど例がありません。 この特徴を大いに生かして、市内の小学校・中学校では、歴史の教育に発掘された遺物や遺跡の見学など、本物を多用した特色あるカリキュラムを導入しています。特に、本市の文化財展示室では、展示物のほぼすべてに出土した遺物そのものを設置しており、教科書や写真では伝わらない質感なども感じ取っていただけます。また、実際に発掘に携わった職員による「出前授業」を行っており、発掘調査での苦労話など、よりリアルな現場の感覚を授業でお伝えしています。 また、学校以外での学習機会としては、市民大学での体系的な講義や民間団体との協働による連続講座、シンポジウムや歴史ウォーク事業など、多様な活動を展開しておりますので、ご興味のある方は、本市ウェブサイトやSNS、広報などでご確認ください。是非、多くの皆さまにご参加いただければと思います。

No.	相談内容・要望 (概要)	相談内容・要望 (詳細)	対応方法(今後の方針)
2	今後の羽曳野市の発展のための取組み	また、人口減少に伴う税収減もあるますが、人口増対策をどうお考えますか？(新興住宅地域も50年以上経ち空き家多くありその活用 等)よろしくお願いします	<p>人口減少や少子高齢化は、今後、ますます進展していきます。それに伴い社会保障関連経費は増加する反面、生産年齢人口の減少は、税収の減少をもたらし、その結果、行政サービスの低下を招き、まちの活力等へ影響を及ぼすことが懸念されています。</p> <p>また、本市の財政状況は、黒字決算を維持しているものの、経常収支比率は依然として高い水準にあり、依存財源が多くの割合を占め、市税等の自主財源の大幅な増加も見込むことができない、極めて厳しい状況が続いています。さらには、今後も自然災害への備え、老朽化する公共施設やインフラの更新等が見込まれ、中長期的に財政需要は増大していくことが確実であります。</p> <p>こうした厳しい課題をしっかりと受け止め、行政運営を行っていくためには、身の丈に応じた財政運営、行政サービス水準の適正化、歳入確保・歳出抑制に向けた取り組みの徹底など、行財政改革の取り組みをあらゆる分野で力強く推し進めること。また、将来世代へ過度な負担を残さず、利益や財産を引き継ぎ享受することができる持続可能で魅力あるまちづくりを実現していくことが重要であります。</p> <p>そのためには、地域が持つ魅力や強みを最大限に活かしながら、自治体経営の視点に立った行財政改革を着実に実行していくことが大前提であるとと考えています。</p> <p>本市には、日本遺産である竹内街道や世界遺産である古市古墳群などの貴重な歴史資産、ブドウやいちじく、ワイン、食肉などの豊富な特産物があり、交通の便にも恵まれ、ポテンシャルが高いまちです。これら地域資源に磨きをかけ、市の魅力を高めていくとともに、広く内外に効果的に発信し、まちのよさを感じていただくための取組を積極的に行っていくことが重要であるとと考えています。</p> <p>この間、サイトや返礼品の充実を図るなど、ふるさと納税の取組を進め、それらを通じて本市の魅力の発信に努めてまいりました。また、フェイスブックやユーチューブなどのSNSを活用したまちのPRにも取り組んでおり、広く内外への情報の発信に積極的に取り組んでいるところであります。</p> <p>また、本市の立地特性を活かした土地誘致を図り、幹線道路沿道周辺における企業立地を促進し、その結果、地域の活性化や雇用の創出等にもつなげてまいりたいと考えています。</p> <p>また、市民の安心で安全な暮らしを確保すること、さらに出産・子育てに係る制度・環境の充実などにより、人口減少を緩やかにし、持続可能なまちを市民のみならずとも築いてまいりたいと考えています。</p> <p>このような様々な取組が有機的につながることで、さらなるまちの魅力を高めることとなり、人々を呼び込むようなまちの好循環を生み出し、安心して住みたい、住み続けたいと思うまちを実現します。</p>
3	地域の活性化について	<p>地域を活性化するためには、地域ボランティアの育成が大変重要であると考えています。高齢化等に伴い、地域のボランティアスタッフが年々減少しています。災害ボランティアを事前に登録されていれば、災害が起こった時すぐに活動できます。</p> <p>ボランティア団体の要望等を取りまとめて、スタッフの少ない団体への参加募集を市の方で、行っていただきたい。</p> <p>また、ボランティア団体へのアドバイス・希望者とボランティア団体とのマッチングなどを提案します。</p>	<p>日々のボランティア活動に感謝申し上げます。市役所の職員だけでは「まちづくり」行っていくことが出来ません。市民の皆さまとの協働でより良い「まちづくり」が行えます。</p> <p>そこで、本市では羽曳野市伊賀にある”緑と市民の協働ふれあいプラザ（エコプラザ）”において、社会や不特定多数の人の利益に寄与する活動、社会的課題の解決をめざし新しい公益を生み出す力となる活動であります市民公益活動の交流の場を運営しております。また、市民公益活動を推進するための相談支援をはじめ、市民公益活動の促進策、活動内容を紹介しました「羽曳野市市民公益活動団体情報ライブラリー」を作成し、本市ウェブサイトで公開しております。</p> <p>また、羽曳野市社会福祉協議会ボランティアセンターではボランティアしたい人と、ボランティアをお願いしたい施設や団体をつなぐボランティアコーディネート役割を担っています。昨年度では、新型コロナウイルスの影響が残るなかで136件の調整や相談対応を行いました。また、ボランティア育成のために、様々な企画を実施しています。「ボランティア・市民活動わくわく講座」は、毎年開催しています。令和4年度は2団体が開催しました。羽曳野市でボランティア活動したいという方が、ボランティア活動を始める際の楽しさや気を付ける点などを伝え、ボランティア体験をしていただくために登録されているボランティアグループが講師となり運営しています。</p> <p>小学生を対象としたボランティアプログラムである「小学生ボランティアスクール」を毎年夏休み期間に開催しており、小学生ひとりひとりがボランティア体験を通して人を思いやる気持ちの大切さである「福祉の心」を育てるボランティア活動のきっかけを提供することを目的に実施しています。</p> <p>「精神保健福祉ボランティア養成講座」を開催し、こころの病を持つ方が増加傾向にある現代、その方が安心して暮らせる地域を一緒に作るために、精神障がいについて正しい知識を得ることで偏見や差別をなくすことを目的に開催しています。障害福祉課や病院のケースワーカーより精神障がいのことについて講習をしていただき、グループワークを行いました。</p> <p>夏のボランティア体験プログラムを大阪府社会福祉協議会と共催で開催を行っております。子どもから社会人、高齢者などボランティア活動参加の機会と、ボランティア活動を体験したいけれど忙しい学生が夏休みの期間を利用してボランティア体験をする場の提供を目的としています。校区福祉委員会や福祉施設などに受入れを依頼し、実施しています。</p> <p>ボランティアグループ同士の横のつながりをつくるために、「羽曳野市ボランティア連絡会」が組織化されています。令和5年9月1日現在、56団体中18団体が所属しており、加入していないボランティア団体には随時加入を呼び掛けています。ボランティア連絡会では幹事会を毎月開催しており、そこでそれぞれのグループの情報共有や羽曳野市のイベントなどでの企画を練ったり、社会福祉協議会への依頼、要望を伝えられています。</p>

No.	相談内容・要望(概要)	相談内容・要望(詳細)	対応方法(今後の方針)
4	<p>○藤井寺の「フジバル」のように「はびバル」を開催して欲しい。</p> <p>○藤井寺の「藤井寺ハロウィン」のように「はびきのハロウィン」を開催して欲しい。</p>	<p>私は日ごろ、近鉄バスに乗って藤井寺駅から大阪市内に向かいますので藤井寺市のことをよく知っています。</p> <p>①コロナ渦になる前は藤井寺市では安い3000円ほどでチケットが複数枚つづられたチケットセット(というのかな?)を買い、それらをちぎって飲食店に渡し、複数の飲食店をハシゴして楽しむ藤井寺ハルー「フジバル」を開催されてました。そうすることで、市民は「あの店に行こう。この店で食べよう。その店で楽しもう。」と(a)楽しくなりますし(b)市内のお店を新たに知ることになります。(c)市内を移動しますので、それに伴いお金も使いますから市内経済が活性化します。(d)お店も儲けは少ないですが、お店を新たに知ってもらう、という利点があります。(e)お店はお客様が来てくれて嬉しいですし、何よりも「人との出会い」があります。そこで交わされる会話に何かが生じます。何よりも「心の触れ合い」が生じます。(f)ハルと一緒に参加することで参加しているお店同士も知り合うことができ、お店同士のネットワーク・交流ができ、そこでもやはり「人との出会い」があり「心の触れ合い」があり、次また共同して「次また何かを一緒にやりましょう!」という機運・活動に繋がります。</p> <p>羽曳野市にはやや公的な「大阪はびきの観光局」はありますが、藤井寺市にはそういった公的なもの以外に、全くの市民から自然発生的に自発的に「自分たちの市を盛り上げよう」として立ち上がった「ハレマチフジデラ」や「道明寺まちづくり協議会」がありますし、藤井寺市民にはそういう機運があります。「ハレマチフジデラ」は「フジコーラ」を作るようになりましたし、「道明寺まちづくり協議会」の会長さんは「道明寺麦酒」をお立ち上げになりました。</p> <p>羽曳野市でも羽曳野ハル「はびバル」を催していただき、市民が楽しくなり、お店も来客数が増え、「人同士の繋がりが」「心の触れ合い」が始まり、羽曳野市が活性化するようにお願いをしたいと思います。</p> <p>② 藤井寺市には「藤井寺ハロウィン」があります。子供たちが仮装をしたりして楽しそうです。両親も子供たちのその様子を見て楽しくなります。(a)市民が「楽しくなる」ことは良いことです。(b)「うちの市は楽しい良い町だな」とつくづく感じ「その市への愛」が生まれます。「市への愛」が生ずれば他市へ引っ越したりしないでしょ。(c) それらの様子を見て、若い子育て世代は「この市って楽しそうだな」と感じて移住してくれるかもしれません。(d) この催しにより、休日はより刺激と楽しさと店舗数の多い大阪市内には出向かず、羽曳野市内にお出かけすることで、市内のお店で消費する市内経済の活性化にもつながると思います。</p> <p>(提案)多くの方から羽曳野市を認知されるように近鉄の駅名を”はびきの古市駅”に改変するよう呼びかけられたらどうか</p>	<p>羽曳野市を盛り上げていきたいという思いを伺いありがとうございます。そのお気持ちは私も同じ思いです。</p> <p>藤井寺市では、地元の商店街や住民の方々が中心となり、まちの新しい魅力づくりにととも精力的に取り組んでおられます。「テラハル(藤井寺ハル)」(主催:テラハル実行委員会)や「テラハロ★Happy Halloween in Fujiidera」(主催:藤井寺駅周辺まちづくり協議会)などのイベントを実施され、また、一般社団法人ハレマチフジデラでは市内の飲食店や事業者などとコラボし、フジコーラやその他様々な商品を企画・販売するなど、住民と商店、行政などが良い連携のもと活動されています。</p> <p>本市でも素晴らしい企画がたくさんあります。若手の営農家さんが『はびきの農家のコトコトまるしゅ』を古市駅前で行いました。また、『古墳DEるるる』など、市役所が企画するだけではなく民間事業者の企画に対して市役所が後押しできるようにしたいと考えています。そこで、昨年設立しました一般財団法人大阪はびきの観光局では、関西最大の大阪ワインフェスの誘致や、地元特産品であるお肉に関連したイベント(肉まつり)企画するなど、市民のみならず、市外から訪れる多くの方々にも楽しんでいただけるような事業を実施しています。今後も観光局が中心となって、生産者や地元商店、商工会などを巻き込みながら、地域全体が盛り上がる”賑わい”を作っていこうと考えています。</p> <p>知名度をUPする事は大事だと認識しております。ただ、駅名を変えるためには鉄道会社の各駅にある路線図の変更などかなりの金額負担が鉄道会社に生じると聞いております。</p> <p>大阪はびきの観光局では、広報力を高めるために理事長には吉本興業のデバロップメントの社長にも参画いただき、また、羽曳野市文化大使に笑福亭仁智さん 羽曳野市スポーツ・観光大使にダルビッシュ有投手に就任いただきました。これからメディアに出ていく機会も増えていきます。駅名を変える以上の広報力で羽曳野市を発信していきたいと思っております。</p>

No.	相談内容・要望 (概要)	相談内容・要望 (詳細)	対応方法(今後の方針)
5	羽曳野市の魅力を引き出すために	<p>市長は〈大阪はびきの観光局〉を設置されるなど、観光行政にも大いに力を入れておられます。それに関連して、さらに羽曳野市の魅力を引き出すための意見を述べさせていただきます。</p> <p>世界遺産の古墳群と日本遺産の竹の内街道はとても素晴らしいですが、それに加え歴史ある〈古市〉があります。古市駅とその周辺は、石川など水運の起点である船着場と竹の内街道・東高野街道が縦横するひと・モノ・文化の交流場所として大いに栄え、近世には、代官所から銀屋・問屋まで置かれていました。</p> <p>そこで、羽曳野市のルーツである古市について、ビジュアルで分かり易く学べる常設の展示施設があれば、さらに羽曳野のファンを増やすことができるのではと考えます。ちょうど建替計画がある市役所は、様々な人が来訪する集客施設ですから、古市を含め市全体の発展の歴史を体系的に展示できる博物館機能も、建替後に持たせてはいかがでしょうか。</p> <p>2点目に、市役所前の街路は、駅と応神天皇陵を結ぶルートであり現在無電中化が進められています。かつての古墳はたくさんの道輪を並べるにぎやかな祭事空間でした。そこで、無電柱化の街路を利用して、古墳造営の歴史を学べる展示や、古墳のまち羽曳野を象徴するような造形物（例えば、親しみある楽しい道輪など）を置くと、まちの観光化に繋がるものと考えます。</p>	<p>市役所の本館・別館は、世界遺産の構成資産である応神天皇陵古墳や葦山古墳、向葦山古墳などに囲まれた位置にあります。</p> <p>現在進行している本庁舎の建て替えについても、庁舎と構成資産との距離が幾分近いため、世界遺産が持つ普遍的な価値に及ぼす影響について調査・分析を行い、世界遺産を所管するユネスコに「羽曳野市本庁舎建替整備事業の遺産影響評価書」を送付したところです。庁舎建て替えの基本計画においても、「世界遺産への影響があるロケーションである」ことを念頭に策定作業を進めています。このようなロケーションでの建て替え事業ですが、返してみれば、新庁舎は世界遺産の古墳を良好に見晴らすことのできるポイントとなり得ます。この条件を活かし、市民の皆様にも世界遺産と新しい庁舎により親しみ、活用していただくため、展望スペースならびに世界遺産の魅力や価値を伝えるスペースを新庁舎の上層階に組み込む案を考えています。併せて、ユネスコに提出した評価書には「多様な古墳の連続性や雄大さを体感することができる展望スペースに加えて、世界遺産に囲まれたロケーションを活かした構成資産の解説や百舌鳥・古市古墳群の顕著な普遍的価値を多くの人に伝えるためのガイド機能有するスペースを整備する」との評価を記載したところです。今後建設が予定される新庁舎には、ぜひこれらの機能を実現させていきたいと考えています。</p> <p>つづいて、無電柱街路を利用した展示や造形物の設置についてですが、現状では、それぞれの古墳や社寺などの周辺に説明看板を立て、主要な道路から各スポットへの経路を記載した案内板を電柱などに巻き付けるなどして誘導する手法をとっております。ご提案の観光化も見据えた街路での展示物掲示や、造形物の設置については、交通の確保や人の滞留など安全に関する課題もありますが、プレゼンテーションに関する効果的な施策の一例として参考にさせていただき、お隣の藤井寺市とも足並みをそろえて、「古市古墳群」としての魅力も発信できるようなプロモーションに取り組んでいければと考えています。</p>